

ARAI NEWS


(株)新井広武

〒330 埼玉県大宮市東町2-12

☎0486(41)3825-7




Araiはいつも完成品。

MX-VENTは、世界中にそのコピーが出回る程完成の域に達している、と自負しています。事実、多くのMXライダーの方からも好評を頂いており、特別に何かから変えなければ、というところはないといえます。しかし、のポリシーはいつも先を見通し、前進することです。一見、デザインを優先させたと思われる美しいデザインに仕上がりましたが、これもMX-VENTの機能を進化させたらこうなっただけのことなのです。MX-VENTをベースに、さらに高いところをめざして、世界の頂点に位置するオフロード用ヘルメットとして開発したのがMX-IIです。MX-IIはMX-VENTを実戦に基づきさらに発展させたモデルです。例えばバイザーは、スーパークロスの影響からジャンプが増えコースが激しくなってきたためホックの位置を上にくれという意見が増えて来たので、それならば上下に無段階で調整出来るように作った方がよいとの事で出来上がったものです。マウスガードも空気をもっと取り入れ息苦しさから解放するためにスリットを大きく開け空気流量を増やしました。帽体カットもゴーグルをもう少しかけやすくなった方がよいとのことで変更させました。このように基本的な部分には変更を加えず、なおかつすべてを設計しなおしたヘルメットがMX-IIです。

ところで、運動量の多いモトクロスでは、ヘルメット内のベンチレーション効

果は不可欠です。MX-IIのベンチレーション効果は、汗を吸っても常にサラッとした感触を保つ特殊吸水性布地などMX-VENTの特徴はそのままに、メッシュ地を用いた部分をより多くし、効果が高まるような設計がなされています。そしてベンチレーション効果をさらに増加させるのが、エアースクープバイザーです。

ヘルメットは非常に大きな衝撃を受けると帽体に亀裂が入ります。その亀裂はヘルメットのヘリや穴の方向に向かって走ります。は安全性に妥協することなくヘルメットを作り続けています。ヘリの近くに穴を開けずにおでこに風をあてるにはどうしたらよいか、いろいろと頭をひねり完成させたのが、MX-VENTにもオプションで設定されたエアースクープバイザーです。エアースクープバイザーは帽体とゴーグルの間に強制的に隙間を作り、そこに風を集中させ、額に送り込むものです。帽体や緩衝体には何の影響も与えず、なおかつ額に風を強制的にあてる非常に安全で合理的な物です。

MX-IIのエアースクープは無段階調整のバイザーのどの位置でも取り付けられるように、また少し頭をひねったものです。そのために取り付けにはちょっとしたこつを要します。まずバイザーを好みの位置に設定していただき、次にエア-

スクープを帽体のヘリのポッチに差し込んでもらい、バイザーにアンダーカバーを付けエアースクープを取り付けていただきます。しかもエアースクープは、パッケージ内に同封される標準付属品ですので、好みに合わせ自由に取り外しが行えます。

また、MX-VENTの大きな特徴のひとつでもある丸洗いして乾かす際のドレイン穴はそのままで、このドレイン穴は衝撃を受ける可能性が殆どない天井部に穴を開け、しかもその穴に向けて貫通テストを行っても大丈夫な様に作られています。MX-IIではその穴を少し前方に移し、オプションのレース用エアードクト、あるいはインダクションポットを取り付けた際に、より空気が入るように設計されています。この他、空気流量を増やしたマウスガードなど、ベンチレーション効果だけでも数々の特徴を有するMX-II。しかも、帽体はdLo構造でスネル規格を凌駕しながら、MX-VENTとほとんど変わらない重量。被ってしまうと良好なフィット感により手に持つよりもさらに軽く感じるはず。これからのオフロード用ヘルメットの頂点に位置するMX-II、店頭には4月中旬頃頃から並び始める予定です。もうしばらくです。ご期待ください。

Arai
HELMET